

わ か く さ ニ ュ ー ス

令和6年12月16日発行
令和6年12月号 No. 63

横浜市金沢区泥亀2-12-1
TEL: 045-784-6900
社会福祉法人財団法人 恩賜 済生会支部神奈川県済生会
特別養護老人ホーム わかくさ
<https://saiseikai-wakakusa.jp/>

Merry
Christmas



ホーム食

ローストビーフ丼・すまし汁・お漬物
海老貝柱の若菜蒸し・ロールケーキ



～昭和食堂へようこそ～

ごはん・エビフライ・ほうれん草の炒めもの
オニオングラタンスープ・プリンアラモード

手作りおやつ あんまん



ゼリー食

ゼリー粥・汁ゼリー・牛肉のソテー
小松菜の胡麻和え・フルーツ（ぶどう・りんご）



ゼリー食



♪わかくさもクリスマス♪

特養わかくさ委員会紹介 【生産性向上委員会】

近年、生産年齢人口が減少していく一方、介護需要が増大していく中において、介護人材の確保が課題となっています。厚生労働省は現在の介護現場の状況及び将来の社会情勢の変化を踏まえると介護業界全体で生産性向上の取組を図る必要があることから、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会（生産性向上委員会）の設置を義務付けました。

もともと「生産性」とは、民間企業の経営における生産効率の分析などに用いられる概念でしたので、これまで介護の分野になじまないという考え方が強かったですが、現実問題として現在の限られた介護人材で介護サービスを維持し発展させ介護の質を向上させていくこと、また、その限られた介護人材の業務負担を軽減し、勤務時間を短縮し、働き方改革を進めるためにはどうすればよいか、「介護職員が思うように確保できない中でも、安定的に継続的にサービスを提供できる仕組みをつくる」が重要なテーマとなっています。

生産性向上委員会 委員長 川脇 茂義

随 想

北海道に旅行は航空機が主流だが、その昔は青函航路で北海道に渡る手段があったのはご存じだろうか。船で4時間の旅、当時は携帯電話もない時代、4時間という時間は、北海道へ行く重要な予備知識取得時間であったのだが、夜行列車から降り、そのまま青函ダッシュをして船内に入るため、直ぐに寝てしまうのが常でした。連絡船は大地に降り立つワクワクと、悲しい歴史が交錯し考え深げな船旅でした。

北海道に上陸すれば頭の中は全て楽しい事ばかりになる。広い大地・美しい風景・おいしい食べ物、何日間滞在するだろうとわくわくした。（周遊券の使いまわしをしていたので、期間はそれなりに長い）帰りの青函航路は何か寂しく名残惜しさがあります。

思い出は良くも悪く記憶に残ります。その時撮った写真を見ながら皆で話すのも楽しいひと時。入居者様との団らんでも、是非良い思い出を話して頂き、ひと時を過ごして頂きたいです。



経営管理部部長 清水 紀明

・良質なサービスを提供します・向上心を持った職員が接します
・地域との連携を図ります
・笑顔が絶えない施設をつくりたい

わかくさの理念「ともにあなたらしさの虹をえがく」

基本方針